

今頃だが、アメリヤイキ  
アーティスト LIZZO(リゾ), 7.か,  
こゝろですわ。

# 元祖 モリモリ書店

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

読書だより

第47話 R02.10.13(火)  
「一人一人が抱える  
生きづらさを知る。」

★今回、紹介する本は、『<sup>お</sup>推し、<sup>も</sup>燃ゆ』(著/宇佐見  
りん、出版/河出書房新社)です。

前作『かか』で「文藝賞」と「三島由紀夫賞」を  
W受賞した、21歳の女性作家の最新作。新しさと  
古さが同居したタイトルが、まず、魅力的です。

主人公は、高校生の「あかり」。一人の男性アイドルを推すことに全力を注ぎこむ彼女のもとに、ある日、一つのニュースが舞い込んでくる。それは、「推しが女性ファンを殴り、SNSが炎上している」というもの。そこから、彼女の物語が始まりますー。

全編をとおして、あかりの内面の語りとなっていて、日記を読んでいるかのよう。SNSで自分の存在を確かめながらも、日常では、まわりとうまくつなげられない彼女の生きづらさが浮かび上がってきます。「彼女の孤独」や「SNSの空虚さ」をただ否定せず、しっかりとそのままの姿を描ききろうとする感じがとてもよいです。約130ページ。一人の女性の物語にどっぷりつかってほしいと思います。



ダイスケリキチヤードマ秋もすてきてすわ。

『生きてて偉い、  
って聞かされた一瞬。』  
(p.6)

一人一人がも「生きづらさ」  
1人1人違って、  
それぞれに  
あるものなんすわ。

『やめてくれ、あたしから  
背骨を奪わないでくれ』  
(p.112)

『推しを推さない  
あたしはあたしじゃなかった。』  
(p.112)



モリモリが文芸的。